

# ハコモノの維持管理が地方を潰す

**質問**

高度成長期に建設したハコモノが老朽化し、改修・建て替え費が財政を脅かす。この質問は6回目だ。

昨年度、市はやっと「愛西市施設報告書」を作成し、すべての施設を維持すると、大改修と建て替えで、40年間で713億円必要との試算がされた(年間18億円)。  
長寿化も大切だが、不要な施設の長寿化は維持管理費もかかり、問題の先送りだ。市の考えは。

**市長・総務部長**

全施設を長寿化して延命する考えはない。施設の本来の目的、利用状況、維持管理費などを検証し、必要性がないと判断されれば売却も含め検討する。

**質問**

小学校の児童数減少も問題だ(表参照)。の中には、中学校や児童クラブの問題にもつながっていく。

開治小では、再来年入学予定児童が8名、その翌年から19名、10名、8名となり、6年先には全校生徒が75名と予



吉川三津子 議員

全校児童数の6年後の予測

	平成23年 5月(人)	平成31年 予測(人)	減少数 (人)	減少率
佐屋	770	545	-225	-29%
佐屋西	376	192	-184	-49%
市江	338	194	-144	-43%
永和	470	375	-95	-20%
立田北部	216	165	-51	-24%
立田南部	218	151	-67	-31%
勝幡	286	227	-59	-21%
北河田	425	323	-102	-24%
草平	479	287	-192	-40%
西川端	328	196	-132	-40%
八輪	120	100	-20	-17%
開治	126	75	-51	-40%

**市長**

児童数減の問題は、直視して対応せねばならない。教育委員会でするかの決定を早くしてほしい。

測されている。児童減は全小学校に言えることで、子どもの教育にとって果たしてよいのかという視点から考えるべきではないか。

## 平等な契約のため、口利きの記録を

**質問**

道路・土木工事の落札率が高すぎる。談合があるのではないかという問題を取り上げたのは、6年前の議会だ。

しかし、平均約97%と相変わらず高い状況が続いており、県下で2番目に高い市となっている。どのような工夫をしてきたか。

**企画部長**

吉川議員の今までの指摘点のうち、入札執行調書(入札結果)のホームページ掲載や、契約後の変更契約のしくみの改善、談合の疑いという面では、指名停止要綱の改善や電子入札なども進めてきた。今後、事後審査型一般競争入札や電子入札をふやしていく。

**質問**

各課で入札の指名業者を決めることは、口利きの問題も起きやすい。職員が仕事をしやすく、市民に信頼される環境を作ることが大切だ。口利き記録制度の制定をすべきでは。

**総務部長**

議員に限らず、すべての外部の者からの不当要求があってはならない。いち早く制定し、実行に移していく。